

# 高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ 2021 第 13 回道北ブロックカブスリーグ 兼 第 28 回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

- 1 主 旨 日本サッカー界の将来を担うユース(15 歳以下)の少年たちのサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とし、第 3 種年代の加盟チーム全てが参加できる大会として、本大会を実施する。この主旨を受けて(公財)北海道サッカー協会として本大会を開催する。
- 2 名 称 高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ 2021 第 13 回道北ブロックカブスリーグ 兼 第 28 回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 旭川地区サッカー協会, 道北地区サッカー協会, 宗谷地区サッカー協会 (担当 同 第 3 種委員会)
- 5 後 援 北海道、北海道教育委員会、(公財)北海道スポーツ協会、北海道中学校体育連盟、開催地市町村
- 6 協 賛 旭川大雪ライオンズクラブ
- 7 期 日 第 1 節 4 月 24 日(土)～最終節 10 月 2 日(土) ※別紙開催日程参照
- 8 会 場 東光スポーツ公園、東川ゆめ公園、忠和公園、カムイの杜公園 他 ※別紙 開催日程参照
- 9 参 加 資 格
  - (1) 本リーグ参加申込締切日までに(公財)日本サッカー協会に第 3 種登録した加盟チームであること。
  - (2) (1)項のチームに登録された選手であること。
  - (3) (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代とし、第 3 種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
  - (4) セカンドチームの大会参加についてはこれを認める。但し、上位チームの下のリーグまでしか昇格できない。上位チームの降格により同じリーグとなる場合は、セカンドチームは自動的に降格する。
  - (5) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。ただし、11 名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
    - ① 合同するチームおよび選手はそれぞれ(1)および(2)項を満たしていること
    - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
    - ③ 大会参加の申込手続は、それぞれのチーム代表者が協議の上、代表チームが行うこと。
    - ④ 合同チームとしての参加を地区サッカー協会第 3 種委員長とブロックカブス実行委員長が承認し、(公財)北海道サッカー協会第 3 種委員長が別途了承すること。
  - (6) 複数チームの大会参加については認めない。
  - (7) 第 15 回北海道カブスリーグ U-15、第 13 回道北ブロックカブスリーグ U15、U13、地区カブスリーグ U-15、U-13 についてチームの同時出場を可能とする。ただし、引率・帯同審判の条件を満たすこと。
- 10 選 手 の プロテクトに つ い て 1 部・2 部リーグともに、第 2 節以降、登録選手は出場時間ポイント(フル出場(1P)、ハーフタイム交代(0.5)、後半途中交代(0.7)、前半途中交代、後半途中出場(0.3))の累計によって節毎にプロテクトされる。登録移動ウィンドーは設定しない。本リーグ出場時間ポイント累計上位 10 名の FP が都度プロテクトされ、プロテクトされている間は下位リーグには出場できない。上位リーグ(北海道カブスリーグ)のプロテクト選手も本リーグには出場できない。なお、プロテクト外の選手も、同日連日において

は別リーグに出場できない。また、ブロック・地区入替戦(以下「入替戦」)については、本リーグ最終節終了時点または入替戦開幕時点での出場時間ポイント累計上位 16 名(GK を含む)がプロテクトされることとする。プロテクトに関する違反が判明した場合は、以下の懲罰を与える。違反による懲罰の対象は、本人及び監督とする。

- (1) 該当選手は、上位、下位両リーグの 2 試合出場停止とする。
- (2) 該当チーム監督は、上位、下位両リーグの 2 試合監督業務停止とする。
- (3) 該当選手の出場した試合の勝点は-3 とする。

11 参加チーム TRAUM SV 旭川／旭川市立緑が丘中学校／北海道コンサドーレ旭川 U-15  
旭川市立啓北中学校／旭川市立神居東中学校・旭川市立忠和中学校合同  
旭川市立広陵中学校／旭川市立永山中学校／旭川市立六合中学校

12 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については本大会規定を定める。

- (1) 本リーグ登録選手と上位リーグ登録のプロテクト外選手の中から、同日連日のリーグ戦出場ではない 20 名までの選手を各節ごとに登録できる。
- (2) 選手交代は競技開始前に登録した最大 9 名の交代要員の中から最大 9 名までとする。「自由な交代」は採用しない。
- (3) ベンチ入りできる人員は 14 名(チーム役員 5 名、選手 9 名)を上限とする。
- (4) 本リーグにおいて退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の大会規律委員会において決定する。但し、この規定は全ての競技会に適用され、本リーグ次戦(以降)の出場停止処分が消化するまでは、別リーグなど他大会にも出場できない。
- (5) 本リーグ期間中に警告を 3 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。但し、この規定は全ての競技会に適用され、本リーグ次戦の出場停止処分が消化するまでは、別リーグなど他大会にも出場できない。

13 競技方法 (1) 参加チームによる 2 回戦制総当たりのリーグ戦方式とする。  
(2) 試合時間は、1 部は 80 分(40 分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として 10 分とする。2 部は 60 分(30 分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(同)は原則として 5 分とする。  
(3) 順位の決定は次の順序により決定する。  
①勝点(勝 3 点、引分 1 点、負 0 点)  
②ゴールディフェレンス  
③総得点  
④当該チームの対戦成績(勝敗)  
⑤同総得点  
⑥リーグ実行委員会による抽選

14 懲 罰 (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。  
(2) 大会規律委員会の委員長は実行委員長が兼任する。委員の人選については委員長に一任する。  
(3) 本大会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会において決定する。リーグ規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本リーグへの出場を停止する。

15 参加申込 参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。  
(1) 参加申込書・選手登録用紙・プライバシーポリシー同意書を提出する。用紙が不足する場合はコピーして提出する。所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。(上記書類は、幹事地区サッカー協会(旭川地区サッカー協会)経由で申込先 B 宛(公財)北海道サッカー協会に送付される)  
(2) 大会参加料の納入  
参加料 60,000 円(税込)を半期ごとの期日までに下記口座へ振り込む。  
前半戦分を 4 月 9 日(金)までに振り込む。  
後半戦分を 6 月 25 日(金)までに振り込む。

(1) 親権者同意書の提出郵送で申込先B宛に送付する。

(2) 参加申込締切 2021年4月9日(金)17:00

[申込先]

A 宗谷・道北地区サッカー協会登録チームは、所属地区サッカー協会。旭川地区サッカー協会登録チームは大会事務局

B (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

[参加料振込口座]

旭川信用金庫 東旭川支店

旭川地区サッカー協会 第3種事業委員会 則末 俊介

普通預金 0261361

16 追加登録

選手の追加登録は所定の用紙を用い、所属地区サッカー協会を通じて(公財)北海道サッカー協会に申請すること。また、選手の移籍に伴う追加登録については移籍手続きを完了してから行うこと。追加登録の申請締切りは各節の3日前 17:00までとする。

17 ユニフォーム

(1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。

(2) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。

(3) ユニフォームの背番号は試合開始前に提出するオーダー用紙の番号と同一にすること。

(4) シャツの前面・背面にオーダー用紙に記載された番号を付けること。

(5) 本リーグにおいては、選手の用具に関する下記の内容を緩和する。

①ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。

②ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

③アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。

④アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。

⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

(6) その他の事項は(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

18 表彰

優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。

19 監督会議

監督会議は行わない。

20 負傷及び

事故の責任

リーグ期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うこととする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行う。

21 参加チームの

入替え

リーグの成績により、以下の通り次年度のリーグ参加チームを決定する。

(1) 北海道カブスリーグ2部から本リーグ1部への降格チーム数、本リーグ1部から北海道カブスリーグ2部への昇格チーム数により、昇降格の条件が変動するため、道北ブロックカブス運営基本計画等参照のこと。以下、年度によって変動しない内容である。

(2) 1部上位1~2チーム(2021年度は1チーム)が、北海道カブスリーグ2部参入リーグ(以下「参入リーグ」)に進出する。

(3) ブロックカブス7・8位と、旭川・道北地区カブスの1・2位チームは自動入替とする。

(4) 宗谷地区カブスの1位、旭川・道北地区カブス3位(地区カブス準決勝敗退チー

ムで U-14 のチャレンジリーグを行った勝者)とブロックカブス 5 位, 6 位のチームとの入れ替え戦を行う。

- (5) 入れ替え戦等辞退チームができたときには、最低でも 4 チームでの入れ替え戦を行う。(1 チームのみの辞退は繰り上げしない。繰り上げる順番は、1.地区カブス 3 位 2.ブロックカブス 7 位, 地区カブス GL3 位(異なるグループの順位決定は、勝点, 得失点差, 総得点, 抽選), ブロックカブス 8 位, 地区カブス GL4 位とする。地区カブス GL4 位までしか繰り上げない。
- (6) 新型コロナウイルス感染症の感染・拡大防止のため、本リーグ戦の長期中断、中止となった場合、入替及び各入替戦の方法について、実行委員会で協議し決定する。
  - (1) 本リーグは実行委員会を組織し運営を行う。委員会は旭川地区サッカー協会第 3 種委員長, 副委員長(2 名), 道北地区サッカー協会第 3 種委員長, 宗谷地区サッカー協会第 3 種委員長の 5 名で構成し、実行委員長は、旭川地区サッカー協会第 3 種委員長が務める。
  - (2) 出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認できるものであること。  
\* 選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。選手証は、試合前にエントリー用紙と同時に大会本部に提出すること。
  - (3) 各試合の競技開始前に、大会本部において、オーダー用紙の回収、ユニフォームの決定、諸注意事項の説明を行う。
  - (4) 本大会において大会規律委員会を組織し、委員長は道北ブロック第 3 種委員長が兼任する。委員は実行委員会の構成員とする。
  - (5) リーグ規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本リーグへの出場を停止する。
  - (6) 開催要項に規定されていない事項については、リーグ実行委員会において協議の上決定する。
  - (7) 参加選手は、傷害保険に加入し、リーグでの傷害に対応すること。
  - (8) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合はリーグ実行委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。ただし、試合開始後、荒天またはその他の理由により、試合が中止または中断した場合は、以下の通りとする。
    - ① 定刻に試合が開始できない、または、試合が中断した場合は、15 分間を限度に待機し、試合の開始・再開または中止を、MC と主審が協議のうえ決定する。
    - ② 試合開始ができなかった場合、または前半を終了することができなかった場合、当該試合は不成立とし、後日の再試合とする。前半途中で中断し再開できなかった場合、その時点での得点はすべて無効となる。
    - ③ 前半途中で中断し試合を再開できなかった場合、中断前に警告・退場・退席処分等があった場合は、そのすべてを有効とする。
    - ④ 前半が終了した後の中断後、試合を再開できない場合は、試合成立とする。その場合、セカンドチームが出場するチームもいるため、プロテクト選手特定に公平を期すため、中断時に出場していた選手全員に、残り時間を加えた出場時間ポイントを累積する。
- (9) やむを得ない事情で試合開催が不可能な場合は 5 対 0 のスコアで試合を成立させる。なお、両チーム共に試合の開催が不可能な場合は 0 対 0 のスコアで試合を成立させる。
- (10) 審判に関しては、相互審判を原則とするために、監督会議の際に、審判割当を確認し、大会運営にあたるものとする。(日程表に審判割当が記入されています)
- (11) 参加チームは次年度の道北ブロックカブスへの参加意志を 8 月 31 日までに

実行委員会に伝える。

- (12) 指導者が選手を引率する際の遵守事項
- ①選手の個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に扱うこと。
  - ②選手の権利及び安全を最優先で扱うこと。
  - ③身体に対する暴力行為を行わないこと。
  - ④不適切な言葉を使用しないこと。
  - ⑤身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。

上記事項に反する行為が行われた場合は、当該チーム・指導者・選手等に対し、大会役員(ウェルフェアオフィサー)により事情聴取が行われる場合がある。

23 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本大会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版を遵守し、関係者はチェックシートを都度会場運営担当者(ホームチーム実行委員)に提出することとする。ガイドラインにおいて、チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
- (2) 監督は大会期間を通じて感染対策担当者を務める。感染対策責任者は実行委員長が務め、会場感染対策責任者は主管地区第3種委員長と会場運営担当者(ホームチーム実行委員)が務める。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、会場感染対策責任者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。ガイドラインにおいて、これらの担当者や責任者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
- (3) チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合は、2週間当該チームの出場を自粛し、管轄保健所等の指示に従う。すべてのチームの当該チームとの対戦における勝点等を抜いて順位決定をする。なお、勝点等を抜く前に、当該チームが2位以上で、かつ消化試合数が他チームよりも少ないチームのすべてが2位以上になる可能性なかった時のみ、勝点等を抜く前の成績で順位決定をする。  
リーグ戦の長期中断、中止となった際は、最終的に全チームが7試合を消化していた場合はその時点(総当たり1回戦)での順位を有効とし、7試合未満であった場合は、2019年度の2位 TRAUM SV 旭川が推薦出場することとする